

防災まちづくり談義の会



～「防災塾・だるま」会員の活動紹介(2)～

テーマ:

地域防災への取り組み

<内容>

- 座間市防災計画の概要
- 避難所運営委員会の開設状況
開設状況、開設基準、運営マニュアル等
- 自主防災組織のあり方
マンション防災組織の活動事例
- 要支援者支援制度への取り組み



土橋 忠敬 氏
座間市自治会総連合会
副会長・防災部長
座間市防災推進委員



座間市

テーマ:

主に家庭で出来る減災活動をPR

<内容> 海老名災ボラの歴史と現状

- ①海老名災ボラは、阪神淡路大震災で被災地支援に行った海老名市民有志によって 2001 年 12 月に設立され、災害救援ボランティアセンターを行政や社協と協力して立ち上げることを主な目的としていた。
- ②2011 年の東日本大震災では、ボランティアバスで被災者・被災地支援の活動を活発に展開した。今年の西日本豪雨災害でも被災地支援のボランティアバスで、岡山県の被災地支援活動に参加した。
- ③海老名市内では、社協と協力してビックレスキューかながわに参加、また、自治会と協力して体験型講座・防災・減災対応訓練を推進している。



8・26 ビックレスキューかながわ



福田 博 氏
海老名災害ボランティア
ネットワーク 代表

- ◆日時：2018年11月30(金)
18時～19時30分
- ◆会場：神奈川大学24号館310号室
- ◆参加費：無料
- ◆申込み：不要(直接会場にお越しください)

主催「防災塾・だるま」

<http://darumajin.sakura.ne.jp>



神奈川大学：大学正門前の看板で確認ください

次回のご案内 開催日時：12月21日(金) 16:00～17:30 場所：神奈川大学 24号館 310号室
 テーマ：(案)「防災の課題と対策を考える意見交換」 釜石 徹氏 災害対策研究会・マンション防災士